

## 進路行事 自己を発見し、未来につなげるキャリア教育

**1年次の目標**：どのような進路にも対応できる、しっかりとした実力を身につける  
首都圏への大学見学会を通し、進路意識を高める

**2年次の目標**：具体的な進路先を考える  
推薦受験対策開始

**3年次の目標**：各自の進路希望の実現を図る

大学  
模擬授業



看護師  
出前授業



- 4月 入学式・始業式・生徒面談週間
- 5月 第1回定期考査
- 6月 三者面談（3年）・進路ガイダンス（2年）・第2回定期考査
- 7月 学校説明会・夏季課外・三者面談（1・2年）
- 8月 夏季課外
- 9月 共通テスト説明会（3年）
- 10月 第3回定期考査・進路ガイダンス（2年）
- 11月 大学見学会（1年）
- 12月 第4回定期考査（1・2年）・分野別進路説明会（1年）・冬季学習セミナー（3年）・冬季課外
- 1月 冬季課外・進路講演会（2年）・共通テスト事前指導・模擬試験（1・2年）・第4回定期考査（3年）
- 2月 第5回定期考査（1・2年）・小論文模試（1・2年）
- 3月 卒業式・先輩に聞く（1・2年）

## 卒業生メッセージ



**村井 孝太** 山形大学工学部高分子・有機材料工学科

勝田第二中出身

佐和高校で過ごした3年間はとても充実していました。佐和高校には、修学旅行やクラスマッチなどといった楽しい行事がたくさんあり、1つ1つが大切な思い出になります。私はテニス部に所属していました。そこで出会った仲間は今ではかけがえない存在になっています。部活動など、興味を持ったことは積極的に挑戦することで多くの経験が出来ると思います。進路面に関しては佐和高校の先生方が手厚いサポートをしてくれます。私自身、大学に合格できたのは担任の先生が様々な資料を用意していただき、夜遅くまで課外や面接の練習をしてくださったおかげです。最後に、合格は決してゴールではありません。合格してからがスタートです。大学では高校で学んだ内容は当たり前のように使われます。だから高校生のうちに勉強はしっかりやっておくべきだと思います。進路実現に向けて頑張ってください。



**中川 凜太郎** 二松学舎大学文学部国文学科

千波中出身

佐和高校を卒業して、改めて3年間を振り返ってみると、満足のいく高校時代だったと思えます。勉強に部活、委員会も、優秀だったかと言われるれば決してそうではありませんでしたが、どの面においても充実していました。

特に委員会活動は高校生活の中で印象深かったもののひとつです。私は図書委員会に所属していました。委員会というと、あまり幅広い活動をするイメージはなかなかつかないものですが、その様なことは決してありませんでした。学校内での活動もさることながら、活動範囲は学校外までにもおよび、市や県の研修会での分科会運営や全体会発表など、活動は多岐にわたりました。

これらの活動はどれも違った内容の活動でしたが、すべての活動をやり遂げることができた最大の要因は「全力で取り組めたから」というものです。生徒主体の活動が多く、躓くことも多くありましたが、そんな時に全力で協力していただける先生がいたからこそ私たちは余すことなく力を発揮できていました。もちろん、これは委員会に限ったものではありません。勉強、部活、悩み相談に至るまで、佐和高校には全力で応えてくれる先生方が大勢いらっしゃいます。

全力の青春を送りたい、そんな人はぜひ佐和高校で高校時代を過ごしてみたいかがでしょうか？



**三宅 木の实** 茨城キリスト教大学看護学部看護学科

石川中出身

私にとって佐和高校で過ごした3年間はとても充実し、自分自身の成長も感じる事ができました。私は女子バスケットボール部に所属していました。大会とテスト期間が重なることが多かったのですが、チームの仲間と切磋琢磨しながら乗り越え、「文武両道」という言葉通り、部活面でも勉強面でも納得のいく結果を残すことができました。部活引退後は進路実現のために、多くの先生方に支えていただきながら、面接練習や課題に取り組みました。夏休みにはほとんど毎日学校に行き、先生方や友人たちの意見を貰いながら、改善点を見つけ出していきました。入試当日は、今までやってきたことを信じ、リラックスして臨むことができました。私は佐和高校で3年間過ごし、大変なことや辛いこともたくさん経験しましたが、それ以上に自分自身が得られたものは大きかったです。今は大変な時期で、環境の変化に不安や心配もあるとは思いますが、自然豊かな佐和高校で色々なことを経験し、皆さん自身が成長を感じられることを願っています。

# 将来の夢に向かって

## 進路状況 令和元年度卒業生進路状況

本校は全日制普通科高校として、大学進学をメインに、短大・専門学校等、医療看護系・教育系への進学に重点をおいた指導をしています。

1学年全員で首都圏大学見学会を実施して進路意識を高めています。放課後の課外等で目標とする進路の実現に向けて、先生方が強力にサポートします。

## 令和元年度の主な進路先

### 大学

山形大・茨城キリスト教大・常磐大・つくば国際大・神奈川大・千葉商科大・江戸川大・桜美林大・国士舘大・国際医療福祉大 他

### 短期大学

常磐短期大・山形県立米沢短期大・茨城女子短期大・佐野日大短期大

### 専門学校（医療看護）

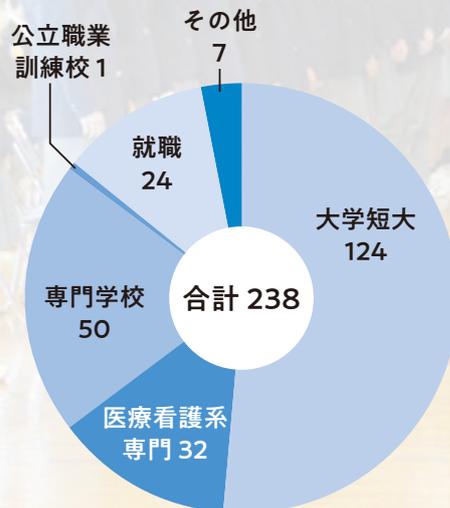
県立中央看護・土浦共同病院付属看護・茨城北西看護・茨城歯科 他

### 専修学校・各種学校

県立産業技術短期大学校・水戸メディカルカレッジ・大原簿記情報公務員・日本外国語・リリー子ども&スポーツ 他

### 就職・公務員

常陽銀行・日本郵政株式会社・JR 東日本・JR 東日本ステーションサービス・日立オートモティブ・ANA スカイビルサービス・茨城県職員・那珂市消防・茨城県警 他



鹿志村 洸太 那珂市消防

佐野中出身

私が佐和高校で過ごした3年間はとても充実したものでした。

私は野球部に所属していました。甲子園出場という目標達成のために日々努力し、夜遅くまで練習をしていたので、なかなか勉強をする時間がありませんでした。それでも毎日コツコツと10分程度でしたが少しずつ公務員の勉強を続けその結果、目指していた消防士になることができました。

佐和高校は、クラスマッチをはじめ楽しい行事がたくさんあります。学業だけでなく部活動にもかなり力を入れていて、ボランティア活動も非常に活発です。また、進路の面でも、佐和高校の進路希望は、大学や短大、専門学校、就職、公務員と多種多様です。どの進路にも、先生方は親身になって相談に乗ってくれて、生徒が合格できるように、必死にサポートしてくれるとても良い先生ばかりです。私が合格できたのも先生方にたくさんサポートしていただいたからです。

充実した高校生活を送りたいという方は、是非佐和高校に入学してみたいですか？



会沢 美羽 常陽銀行

水戸第三中出身

私が進路を就職に決めたのは高校3年生の夏頃です。それまでは進学を考えていましたが、やりたいことがなかったため大学を決めるのに苦戦していました。そんな時先生から勧められたのが常陽銀行です。学歴社会と言われるこの時代、私の中で大学進学はほぼ当たり前になっていましたし、周りの大人から進学を勧められていたこともあり、あまり就職は考えていませんでした。しかし先生や家族に沢山相談し悩んだ末、今行きたいと思えない大学で4年間過ごすよりも就職して早く社会に貢献したいと思うようになり、常陽銀行への受験を決めました。

私は吹奏楽部に所属していたため試験期間は部活の真っ只中でしたが、通学電車の中など空いている時間を使ってSPIの勉強をして、練習の合間に面接練習を多く行うなどして対策をしました。佐和高校には、頑張る生徒にいくらかでも力を貸して下さる素敵な先生方が沢山いらっしゃいます。沢山悩んで相談して、後悔しない進路を選んで欲しいです。

最後に、私は目の前にあることに一生懸命になることが一番重要だと考えています。何もせず過ぎた時間を後で後悔しても取り戻すことはできません。将来の自分の為に、今すべきことが何かよく考えてみて下さい。それが勉強でも部活でも他の事でも良いと思います。皆さんの進路実現を心から応援しています。そして、高校生活を全力で楽しんで下さいね!!



校訓  
君の心に聴け

 茨城県立佐和高等学校

〒312-0061 茨城県ひたちなか市稲田636-1  
 TEL.029-285-1819 FAX.029-285-8401  
 URL <http://www.sawa-h.ibk.ed.jp>  
 E-mail [koho@sawa-h.ibk.ed.jp](mailto:koho@sawa-h.ibk.ed.jp)  
 公式Twitter @SawaHSibaraki



ホームページQRコード



Twitter QRコード

ACCESS MAP ..... 佐和駅より徒歩15分

